



題字・絵・文／池原昭治氏

池原さんのプロフィールや
ほかの作品はこちら▼



47

このコーナーでは、昔から市内で語り
継がれている言い伝えなどを、池原さん
流の描画で紹介します。

蚊の淵の話
笹井の入川で大きく曲りく
ったところに、昼でも暗い淵があ
りました。あるとき男がやってき
て、こつくりと釣り糸をたらしたと
きでした。サワサワとすずめ味のゆ
るい音したかとおもうと、無数の白い
糸がとび出してきて、男のまわりを囲
んだらうです。ほうほうのこいで逃げだ
した男は二度と淵には近づきな
かたうです。これは、魚をとりにくるも
の、威嚇する大きな蜘蛛のしわざ
だったとうです。この淵のことを
蜘蛛の淵と呼ぶようになったらう
です。



編集後記

私の夏休みの思い出は図書館と共にありました。プールを
併設した狭山台図書館が完成した当時、私は小学4年生。親か
らもらった100円玉を握りしめ、心弾ませながらプールに向
かって自転車をこいだことを思い出します。また、中学3年
生の頃には、朝から学習室に通い詰めて参考書にとらめっこ。
まとわりつくような暑さの中、自分は快適な環境で勉強でき
ているという、よく分からない優越感に浸っていました。

今回の特集記事を作成するに当たり、約30年ぶりに狭山
台図書館のプールサイドに立つと、当時の思い出が止めどな
く溢れてきました。年々厳しさを増す暑さの中で、外で遊ぶ
にも注意しなければならない今の子どもたち。それでも大人
になって「あの時最高だった」と思えるような夏休みを過ご
してもらいたいと思いました。

広報さやまへのご意見・ご感想は
はがき・メール・FAXで広報課へ



〒350-1380
狭山市入間川1丁目23番5号



koho@city.sayama.saitama.jp



TEL 04-2953-1111
FAX 04-2953-1117



公式
ホームページ



公式
Facebook



公式X



狭山市LINE
公式アカウント
ID:@citysayama



マチイロ
「広報さやま」が
スマホで見られます！

